

平成26年度 食と地域の交流促進対策交付金  
事業実施主体 評価一覧

【観光と連携した都市農村交流推進(グリーン・ツーリズム)】 2件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階				評価	評価コメント
				H24	H25	H26	H27		
沖縄総合事務局	沖縄県	宮古島市	池間島暮らしツーリズム協議会	●	●	■	－	A	島のお年寄りの暮らしの知恵や漁協との協働により地域の食をテーマにした体験プログラムを実践し、地域協働による運営体制の整備がなされている。その結果、交流人口の増加や民泊・体験プログラム運営者数などの目標をほぼ達成しており、成果が十分に発現していると認められる。また、「(株)JAL・JTAセールスとの共同でプログラム開発をし、発売中で今後も成果が向上すると思われる。
沖縄総合事務局	沖縄県	石垣市	石垣島田舎体験プロジェクト実行委員会	●	●	■	－	A	民泊体験の受入体制構築、地域資源を活用した体験プログラム開発などに向けて、受入民家の人材育成のための講習会や相談会などを実施し、受入地域の連携体制が構築されており、ビジットプランの実施の効果も高い。その結果、交流人口の増加が目標値の8倍以上、それに伴う収益が目標値の9倍以上に達している点は特筆される。これらのことから、総合的に成果を十分上げていると認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)  
(注2) 「評価」の区分： A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

【平成26年度食と地域の交流対策交付金の評価概要】

1. 集落連携推進対策及び人材活用対策
- 今回の評価では、平成24年度に採択された2団体(観光と連携した都市農村交流推進(グリーン・ツーリズム))の事業実施結果について評価を行った。
- 交流促進計画に基づく取組がほぼ実施され、成果も十分上がっていると認められる評価「A」となった。本交付金により、課題解決及び取組基盤が強化されていると認められる。

## 【平成26年度食と地域の交流対策交付金評価委員会の議事概要】

### 【評価委員会】

1. 日 時 平成27年9月15日(火) 15時00分～17時00分

2. 場所 沖縄総合事務局 会議室

3. 出席者

・評価委員会委員 3名 (五十音順)

幸喜 徳子 沖縄石油ガス株式会社代表取締役社長

武田 寛枝 株式会社リクルートライフスタイル沖縄代表取締役社長

内藤 重之(委員長) 琉球大学農学部教授

・評価委員会事務局

沖縄総合事務局担当者 3名

4. 議事概要

1) 食と地域の交流促進対策交付金の評価について

・各実施団体の評価内容案について、委員からの意見聴取を行った。

2) 食と地域の交流促進対策交付金の評価結果案の取りまとめ

・上記1)の結果を踏まえ、各実施団体の評価結果案について、公表用評価コメントを様式に取りまとめた。

5. 評価委員会委員の主な意見

No.1 池間島暮らしツーリズム協議会

・地域協働による運営体制の整備がなされており、総合的に成果を上げていると認められる。

No.2 石垣島田舎体験プロジェクト実行委員会

・交流人口が大幅に増加しており、総合的に成果を上げていると認められる。

担当者: 沖縄総合事務局農林水産部土地改良課